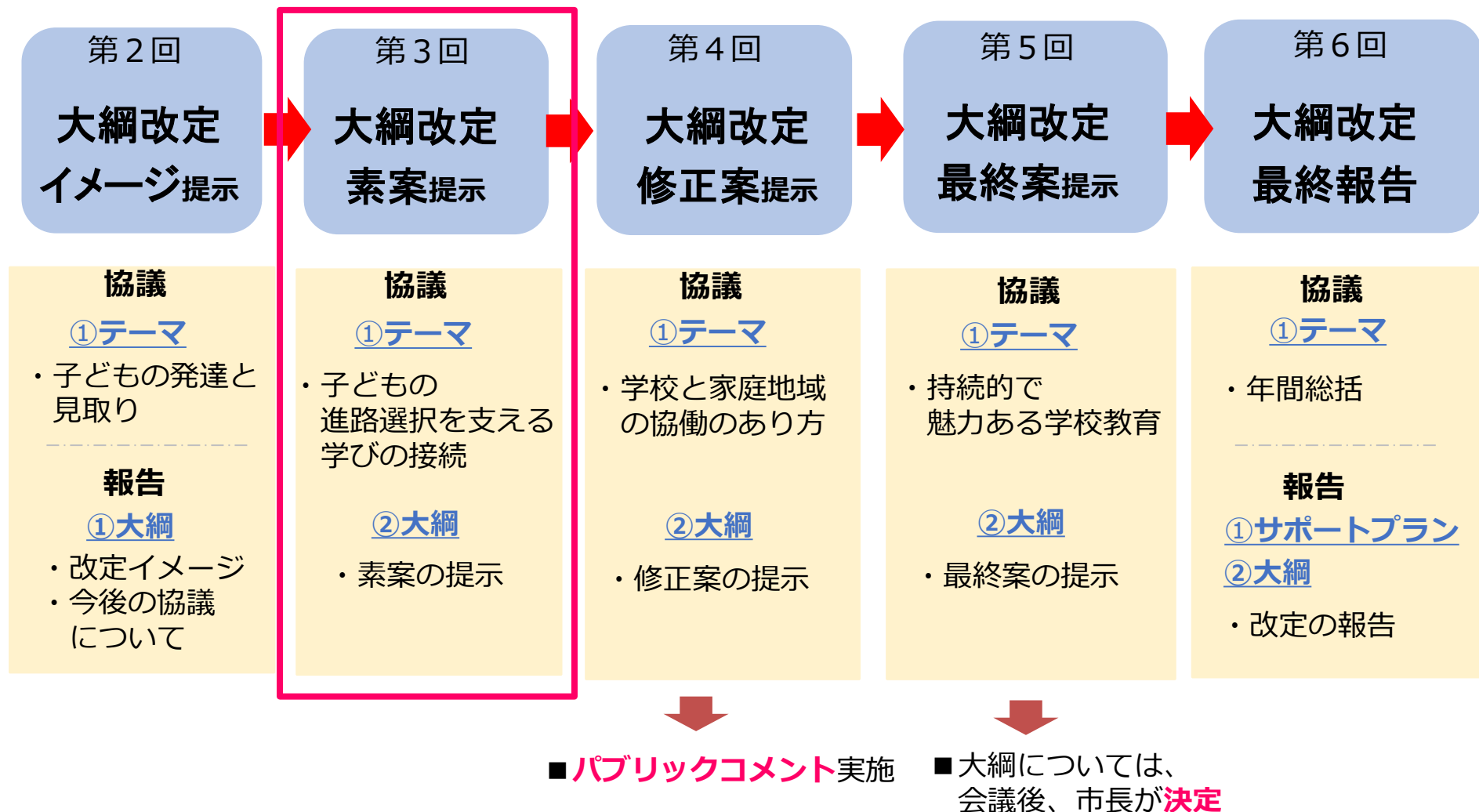


岐阜市教育大綱一部改定にかかる 素案について

1 総合教育会議における協議について

本日



2 改定への論点について

改定の方向性

基本方針を不変の軸としながら、社会の変化を見据え、実現の方策や表現を整理することで、本市の幼稚園から大学のほか、市民全体を対象とした総合的な教育における一貫した方針を改めて示し、目指す教育を推進する

①実現の方策・姿勢、目指す姿のねらいを追記修正

②基本方針を土台とした学びを通じ、目指す姿を実現することを示すデザイン

実現の方策・姿勢	現行	改定(案)
子ども	・生命の尊厳や人間関係の深い学びの実践 ・子どもを主体とした、探究を核とする自律的学びの充実 ・学校形態・学び方の多様化	・生命の尊厳や人間関係の深い学びの実践 ・子どもを主体とした探究を核とする<u>自律的かつ創造的な学びの充実</u> ・<u>失敗を恐れず一歩踏み出し、新たな価値を生み出そうとする精神（アントレプレナーシップ）の醸成</u> ・<u>発達段階に応じた切れ目のない学びと、多様性を包摂する</u>学校形態、学び方の多様化
学校・教職員	・子どもと教職員、教職員同士の対話に基づく相互信頼の確立 ・教職員がより深く子どもと向き合うための<u>学校業務改革の推進</u> ・教職員の資質・能力向上に資する人材育成の充実 ・教育委員会の学校支援機能等の強化	・子どもと教職員、教職員同士の対話に基づく相互信頼の確立 ・教職員がより深く子どもと向き合うための<u>環境の確保</u> ・<u>納得解を導くパートナーとして学びの設計を担う</u>教職員の資質・能力向上に資する人材育成の充実 ・教育委員会の学校支援機能等の強化
家庭・地域	・教育における家庭・地域の役割と責任に対する意識の向上 ・学校と地域をつなぐコミュニティ・スクールの深化 ・地域におけるサードプレイスの充実 ・多様な地域資源を生かした学びの場や機会の創出	・教育における家庭・地域の役割と責任に対する意識の向上 ・<u>生涯を通じて学び続ける姿勢の醸成</u> ・学校と地域をつなぐコミュニティ・スクールの深化 ・地域における<u>居場所・つながり</u>の充実 ・多様な地域資源を生かした学びの場や機会の創出

2 改定への論点について

目指す姿 のねらい	現行	改定(案)
子ども	誰一人取り残すことなく、一人ひとりが価値ある大切な存在であるすべての子どもたちに、心身ともに安全で安心な教育環境を提供し、その中で子どもたちが、生命の尊厳への理解を前提として、「自由の相互承認」に対する理解を深めることで、自己肯定感を高めるとともに、他者との信頼・協働関係を育みながら、自らの責任において行う選択と行動により、幸せに生きる力を育んでいきます。	変更なし
学校・ 教職員	教職員が、一人ひとりの子どもとより深く向き合うことができるようになることで、学校が子どもと教職員のお互いの信頼関係に支えられた、温かい対話と空間のある場所となり、失敗を許容し挑戦を奨励する、学ぶ喜びに満ちた場所となっていきます。 <u>教職員自身の自己研鑽などに資する時間を確保するとともに、教職員同士が連携し、子どもたちにより深く向き合うことができるようにするため、学校業務改革を推進していきます。</u>	教職員が、一人ひとりの子どもとより深く向き合うことができるようになることで、学校が子どもと教職員のお互いの信頼関係に支えられた、温かい対話と空間のある場所となり、失敗を許容し挑戦を奨励する、学ぶ喜びに満ちた場所となっていきます。 <u>教育DXや多様な地域資源との連携等を通じて、子どもたちにより深く向き合うことができるような環境を確保するとともに、教職員自身の自己研鑽や教職員同士の連携により、学びの質を高め、目指す教育を推進していきます。</u>
家庭・地域	教育は、学校・教職員だけの力で成し得るものではありません。家庭・地域の皆様にも、子どもの教育の当事者としての役割と責任を担っていただきながら、コミュニティ・スクールをはじめとする多様な地域資源（組織、人材、場所など）を活用し、様々な人の繋がりの中で子どもの居場所、挑戦を促す場づくり、教育を基盤としたまちづくりに取り組んでいきます。	教育は、学校・教職員だけの力で成し得るものではありません。<u>子どもたちの主体的な学びを育むうえで、周囲の大人が自ら学び続ける姿勢を示すことは重要です。</u> 家庭・地域の皆様にも、子どもの教育の当事者としての役割と責任を担っていただきながら、コミュニティ・スクールをはじめとする多様な地域資源（組織、人材、場所など）を活用し、様々な人の繋がりの中で子どもの居場所、挑戦を促す場づくり、教育を基盤としたまちづくりに取り組んでいきます。